

令和5年度 学校教育自己診断【教職員用】集計結果	小		中		高		全体			昨年度 肯定的	比較
	肯定的意見	否定的意見	肯定的意見	否定的意見	肯定的意見	否定的意見	肯定的回答	否定的回答	わからない		
問1 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	98.1%	1.9%	86.7%	11.1%	83.7%	14.0%	90.1%	8.5%	1.4%	96.4%	-6.2
問2 児童生徒の人権を十分に尊重して、カウンセリングマインドに基づく教育活動を行っている。	100.0%	0.0%	95.6%	4.4%	93.0%	4.7%	96.5%	2.8%	0.7%	97.8%	-1.3
問3 年間の学習指導計画や、指導内容について、日常的に各部、学年、教科、グループ等で話し合い、児童生徒の実態に合わせて、適宜指導内容や指導方法の工夫・改善を行っている。	96.3%	1.9%	88.9%	11.1%	83.7%	14.0%	90.1%	8.5%	1.4%	94.9%	-4.7
問4 学習評価では3観点を意識し、バランスよく評価している。	92.6%	3.7%	88.9%	8.9%	90.7%	7.0%	90.8%	6.3%	2.8%	89.8%	1.1
問5 生活指導において、家庭や関連機関との連携ができています。	98.1%	1.9%	91.1%	4.4%	88.4%	9.3%	93.0%	4.9%	2.1%	96.4%	-3.4
問6 児童生徒や保護者が学級担任以外の教職員とも相談できる体制が整っている。	96.3%	3.7%	73.3%	15.6%	76.7%	18.6%	83.1%	12.0%	4.9%	86.1%	-3.0
問7 学校の教育活動全般において、安全指導・防災教育を行っている。	96.3%	3.7%	93.3%	6.7%	88.4%	7.0%	93.0%	5.6%	1.4%	91.2%	1.7
問8 児童生徒の発達段階や実態に応じて、生命の大切さや社会のルールについて、学ぶ機会をつくっている。	100.0%	0.0%	86.7%	11.1%	90.7%	7.0%	93.0%	5.6%	1.4%	94.2%	-1.2
問9 児童生徒の発達段階や実態に応じて、環境、国際理解、自分たちの暮らしなどについて、教育活動に取り入れている。	87.0%	7.4%	84.4%	11.1%	79.1%	18.6%	83.8%	12.0%	4.2%	77.4%	6.4
問10 いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	92.6%	1.9%	80.0%	6.7%	90.7%	4.7%	88.0%	4.2%	7.7%	89.8%	-1.8
問11 児童生徒が将来の進路や生き方について考える機会を設けたり、一人ひとりが興味・関心・適性に合った進路選択ができるように丁寧な指導を行ったりしている。	81.5%	9.3%	80.0%	13.3%	90.7%	7.0%	83.8%	9.9%	6.3%	86.9%	-3.1
問12 体育祭や学校祭、校外学習、修学旅行などの学校行事が児童生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	98.1%	0.0%	91.1%	0.0%	83.7%	9.3%	91.5%	2.8%	5.6%	97.1%	-5.5
問13 教材提示のツールとしてパソコンやタブレットを活用している。	98.1%	0.0%	91.1%	6.7%	88.4%	9.3%	93.0%	4.9%	2.1%	94.2%	-1.2
問14 児童生徒がタブレットを使用する授業を実施、または計画している。	85.2%	11.1%	71.1%	26.7%	88.4%	9.3%	81.7%	15.5%	2.8%	85.4%	-3.7
問15 給食の食材や献立は、配慮・工夫されている。	98.1%	1.9%	93.3%	4.4%	93.0%	4.7%	95.1%	3.5%	1.4%	94.9%	0.2

令和5年度 学校教育自己診断【教職員用】集計結果	小		中		高		全体			昨年度 肯定的	比較
	肯定的意見	否定的意見	肯定的意見	否定的意見	肯定的意見	否定的意見	肯定的回答	否定的回答	わからない		
問16 学校運営に、教職員の意見が反映されている。	92.6%	3.7%	57.8%	28.9%	53.5%	34.9%	69.7%	21.1%	9.2%	72.3%	-2.5
問17 各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われている。	92.6%	5.6%	57.8%	33.3%	58.1%	37.2%	71.1%	23.9%	4.9%	76.6%	-5.5
問18 知的障がい支援学校として、教室等のホワイトボードや掲示物、作品展示は見やすく整理整頓され、清掃は行き届いている。	92.6%	7.4%	71.1%	24.4%	83.7%	14.0%	83.1%	14.8%	2.1%	83.2%	-0.1
問19 教育活動に必要な情報について、児童生徒、保護者や地域への周知に努めている。	85.2%	5.6%	80.0%	8.9%	86.0%	4.7%	83.8%	6.3%	9.9%	87.6%	-3.8
問20 児童生徒の個人情報に関する管理システムが確立され、適切に取り扱われている。	96.3%	3.7%	88.9%	8.9%	79.1%	14.0%	88.7%	8.5%	2.8%	92.0%	-3.2
問21 教職員はPTA活動について理解している。	81.5%	13.0%	55.6%	31.1%	62.8%	27.9%	67.6%	23.2%	9.2%	65.0%	2.6
問22 情報提供の手段として、学校のホームページ（ブログ）やメール配信サービスが活用されている。	94.4%	3.7%	88.9%	2.2%	88.4%	7.0%	90.8%	4.2%	4.9%	88.3%	2.5
問23 個別の教育支援計画や個別の指導計画（自立活動・各教科等）について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、保護者に開示・説明している。	96.3%	0.0%	100.0%	0.0%	95.3%	2.3%	97.2%	0.7%	2.1%	97.8%	-0.6
問24 事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。	100.0%	0.0%	80.0%	15.6%	83.7%	14.0%	88.7%	9.2%	2.1%	89.1%	-0.3
問25 きょうだい学年交流を活用して、児童生徒が先輩の良いところを知り、先輩は後輩の良い手本となるように取り組んでいる。	88.9%	5.6%	75.6%	13.3%	72.1%	16.3%	79.6%	11.3%	9.2%		
問26 近隣の学校や地域の人との交流の機会を設け、教育活動に生かしている。	85.2%	11.1%	71.1%	20.0%	62.8%	23.3%	73.9%	17.6%	8.5%	67.9%	6.1
問27 校内研修が計画的に実施され、教育実践に役立っている。	98.1%	1.9%	86.7%	13.3%	76.7%	16.3%	88.0%	9.9%	2.1%	83.2%	4.8
問28 初任者等、経験の少ない教職員を育成するために学校全体で育成する体制がとれている。	96.3%	0.0%	60.0%	24.4%	67.4%	18.6%	76.1%	13.4%	10.6%	76.6%	-0.6
問29 ティームティーチングにおいて、サブの教員から主担教員へフィードバックされている。	83.3%	13.0%	68.9%	31.1%	62.8%	27.9%	72.5%	23.2%	4.2%	68.6%	3.9
問30 研修・研究に参加した成果を、学年、教科、分掌等、必要な教職員間で共有している。	85.2%	13.0%	73.3%	15.6%	51.2%	39.5%	71.1%	21.8%	7.0%	73.7%	-2.6
問31 支援教育の専門性を高めるために自主的に講習会等に参加したり、資格を取得したりするなど、知識・技能・教養を向上させる努力をしている。	83.3%	13.0%	64.4%	33.3%	67.4%	27.9%	72.5%	23.9%	3.5%	80.3%	-7.8
問32 必要な場面でヒヤリハットを迅速に報告するように心がけ、また、ヒヤリハットの報告をもとに、指導体制・方法を振り返り、安全・安心な教育活動に役立っている。	98.1%	1.9%	84.4%	15.6%	88.4%	7.0%	90.8%	7.7%	1.4%	93.4%	-2.6
問33 虐待の未然防止のために、日頃より児童生徒の変化に気づくよう努めている。	98.1%	0.0%	97.8%	2.2%	90.7%	7.0%	95.8%	2.8%	1.4%	97.8%	-2.0
問34 不登校児童生徒について、学部内で情報共有されている。	94.4%	5.6%	91.1%	6.7%	93.0%	4.7%	93.0%	5.6%	1.4%		
							86.9%	9.1%	4.0%	85.7%	1.2